

伝統の工法に現代の知見を加える挑戦は、これまでの左官の価値観を打ち破る可能性を秘めている。歴史的建造物の保存・修復を行い、建物が歩んできた歴史を次代へとつなぎながら、新しいコミュニティの場として再生する。また、現場のニーズや施工性の向上、機能性に応えるために素材の性能を調べ、確かな品質確保と意匠への挑戦を続けている現場がある。

今月号では伝統の技を活かしながら、現場のニーズに対応する施工事例を紹介しながら左官の可能性について探っていく。（編集部）

伝統の技を 今に活かす

寄稿

川越市文化創造インキュベーション 施設(コエトコ)旧栄養食配給所 復原工事について

(有)阿久津左官店
代表取締役

阿久津 一志…… 8

寄稿

薄塗りの漆喰磨き壁について

水村左官工事
代表

水村 達也……18

